

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	高齢者日常生活用具給付事業				事業番号	011-058	
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 56 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市高齢者日常生活用具の給付等に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	要介護・要支援認定を受けているひとり暮らし高齢者等で、生活保護世帯または市民税非課税世帯の方（対象者数約25,000人）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ひとり暮らし高齢者等の日常生活がより円滑に行われることを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	①日常生活用具（電磁調理器、自動消火器、シルバーカー）の給付。 自己負担：生活保護世帯はなし、市民税非課税世帯は給付額の1割負担。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	②車椅子の貸出 歩行が困難な者に対して、3ヶ月を上限として車いすを無償で貸与する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	—					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
給付金額	千円	目標値	-	-	-	-	
		実績値	405	277			
		達成率	-	-			
当該指標を選定した理由		給付金額を指標に選定することで、事業実績を把握できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		あらかじめ目標を設定する性質のものではないが、実績として給付金額を計上している。					

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
給付件数	件	目標値	-	-	-	
		実績値	24	18		
		達成率	-	-		
当該指標を選定した理由		給付件数を指標に選定することで、事業実績を把握できるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		あらかじめ目標を設定する性質のものではないが、実績として給付件数を計上している。				

令和3年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	高齢者日常生活用具給付事業	事業番号	011-058
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						(単位：千円)
	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
	事業費（a）	394	405	494	277	426
13	財 源					
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
内 訳	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	394	405	494	277	426
14	人件費（b）	82	81	82	82	82
15	年間経費(c)=(a)+(b)	476	486	576	359	508

事業費の内訳									(単位：千円)
		項 目		年度		事業費	うち 一般財源		
16	事業費内訳	日常生活用具扶助	R2	決算	277	277			
			R3	予算	426	426			
			R2	決算					
			R3	予算					
			R2	決算					
			R3	予算					
			R2	決算					
			R3	予算					
			R2	決算					
			R3	予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	①	区 分	単位	令和元年度	令和2年度
		給付件数	件	24	18
	②	上記①にかかる年間経費	千円	486	359
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	20,250	19,944
備考（算出についての説明等）					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<ul style="list-style-type: none">各区役所での申請に基づき、令和2年度はシルバーカー7件と電磁調理器11件の給付を行った。令和元年度より給付件数が減少したため、総給付額も277千円に減少した。令和2年度の車いす貸与は、合計123件であった。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	在宅の要援護高齢者及びひとり暮らし高齢者等に対し、その福祉の増進を図るため、シルバーカーや電磁調理器を給付することによって、ひとり暮らし等高齢者のより安全かつ円滑な日常生活に寄与した。